

イエス・キリストの復活を祝う理由

3月20日は春分で、本州では桜が咲いています。北海道は一か月遅れているような気がします。少しずつ、積もった雪も解けてきますが、いつ春の色になり小鳥の鳴き声が聞こえてくるのでしょうか。

2月14日に四旬節が始まってから、毎日イエスがエルサレムへの歩いた道を私達も共に歩んできました。24日からは、聖週間でイエスの愛、犠牲、栄光を思い出させてくれます。



毎年、4月ごろ、世界中のクリスチャンは、イエスの復活を祝います。大きな喜びの時期です。イエスの復活は、キリスト教の中心的メッセージです。

使徒パウロが書いた通り、イエスがよみがえられなかったのなら、我々の信仰は空しいのです。ですから、クリスチャンはイエスの復活を祝う時、我々の信仰の土台も祝います。

我々の信仰のすべてはイエスが十字架上で死なれたこと、また死者の中からよみがえられたことにかかっているのです。

なぜ私たちは、イエスが本当によみがえられたの信じるのかと、ある人は思うかもしれませんが、もっと重要な質問はこれです：「なぜ復活が大切なのか」ということ。



すべての宗教は、同じだと思えないですが、しかし、他のすべての宗教と違って、なぜイエス様の復活はそんなに特別なのでしょうか。

4月の毎週日曜日の聖書朗読で、この質問に答えています。イエスの復活は歴史的な出来事で、証拠は十分にあるのです。しかし、何よりも、イエスは本当に死者の中からよみがえられたのだからこそ、イエスの復活は私たちに揺るぎない心の平安を与え、私たちの生活と心、またこの世全体を変革させる力があります。

4月の主な典礼・ミサ時刻

| 日 | 曜 | 典礼暦 | 担当 |
|----|---|-----------------------------|--|
| 7 | 日 | 復活節第2主日 P14 キリストの復活をたたえる | 9:00 ミサ 先読み:多田 第1:西川薫 第2:岡本 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:能村 |
| 14 | 日 | 復活節第3主日 P14 キリストの復活をたたえる | 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:古野 答唱詩編:間野/能村 オルガン:能村 |
| 21 | 日 | 復活節第4主日 P14 キリストの復活をたたえる | 9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:三上朋 答唱詩編:安藤/多田 オルガン:能村 |
| 28 | 日 | 復活節第5主日 P14 キリストの復活をたたえる | 9:00 ミサ 先読み:多田 第1:野呂 第2:能村 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:能村 |

◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00、土曜日 10:00

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

16日 聖ベルナデッタ

安藤静江

29日 聖カタリナ

尾崎康子、古野聖奈、多比良桂子

◆お知らせ

- ・ロザリオ会 日程未定
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています

| 砂川 花当番 | |
|--------|-----|
| 6日(土) | 古野 |
| 13日(土) | 岡本 |
| 20日(土) | 多比良 |
| 27日(土) | 高塚 |

◆幼稚園関連

- ・ 8日(月) 始業式
- ・ 10日(水) 入園式
- ・ 17日(水) 参観日
- ・ 23日(火) 4月生まれ誕生会
- ・ 24日(水) 避難訓練

「契り」

ペンネーム 風花(ふうか)



pixta.jp - 44613731

この度、水曜日の聖書の勉強会の分かち合いをしたいと思います。詩篇105のテーマは、契約についてでした。

旧約時代から神は度々人と契約を結んできました。神はいつも忠実であつたのに人はいつもそれを破ってきました。それでも神は、人を見捨てることなく、ついには救い主を送って私たちを罪から解放してくださいました。

復活祭にあたり、洗礼の約束を更新する時期なのでそのことについて考えてみます。

余談ですが、契約という用語については法律で使われることが多く、なんとなくお堅いイメージがあります。契り、と言った方がふさわしいのではないかと思います。例えば、二者の間に愛情と信頼が感じられる、夫婦の契り、といったように。

洗礼の時、私たちは悪霊とその業を退けることを、神に約束しました。たびたび、それとは気づかずに、約束を破ってしまったと思うことは誰にでもあると思います。それでも神様はいつも私たちを助け、導き、励ましてくださいます。人や出来事や、内的な照らしを通して。一日の終わりに静かに心を神様に向ける時、その事に気付きます。神様は、「たとえ母がその子を忘れようとも、決してあなたを忘れない」とおっしゃるほど私たちを愛し、どこまでも靈魂を救おうとされるのです。決して諦めません。

よく、洗礼によって原罪が許される、と言われていますが、私たちは罪の束縛から解放されるだけでなく、三位一体の神の愛の交わりに入れて頂くと聞いたことがあります。これは素晴らしい表現だと思います。

ある友人が、こんなことを話してくれました。

十字を切るときに、神様が十字架によって私を救ってくださったことを思いながら、ゆっくりと十字のしるしをします。父と・・・(天の御父を思い)、子と・・・(十字架で命をささげたイエズスさまを思い)、聖霊(私たちの助け手)との御名によって・・・、アーメン(神様のみ旨のままに)。(アーメン、は let it be なんだそうです) たき火の時に空気を入れて火を起こす「ふいご」のように、私たちの心を愛で燃え立たせて下さる、そんな方法だと思ったの、とその方はおっしゃいました。介護をしている主婦なので、お御堂でゆっくりお祈りする時間はそれほど多くはありません。これは、素晴らしい気付きだなあと、思います。5秒とかからず、いつでもどこでもできる、信仰の行いだからです。神様もきっと喜んでくださるに違いありません。



Adobe Stock | 145325377